

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	大賀紀代子
研究課題	19 世紀イングランドにおける「手織工」の実態について				
研究キーワード	産業革命 綿業 手織工	当年度計画に対する達成度	2. 順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連する SDGs 項目	1. 貧困をなくそう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	4. 質の高い教育をみんなに	8. 働きがいも経済成長も	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究のテーマは、産業革命終期の「手織工」の実態を、イギリス史およびイギリス経済史の視点から明らかにすることであった。</p> <p>そのなかにおいて、今年度は、「付加価値の高い商品の生産に法律がどのように関係していたのか」、そして「経済活動に関わる法が「手織工」の生活水準の向上にどのような役割を担ったのか」、そのような点について焦点をあて研究をおこなった。その結果、手織工の生活水準を上昇させるために、付加価値の高い商品を一定の価格で販売できるように保護することを目的とした法律の制定を、国が検討していることが「英国議会資料」(British Parliamentary Papers) の分析を通じてあきらかとなった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>2023 年度の研究成果をふまえた現在論文を作成中であり、2024 年度に発表予定である。</p> <p>【著書・論文 (査読なし)】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>3. 主な経費</p> <p>19 世紀を対象とした経済思想に関する書籍、経済史関連の書籍、歴史学に関する書籍を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>千葉県開発審査会委員 (2016 年 4 月～継続中)</p>					

(本文は 2 ページ以内にまとめること)